

令和9年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（保健体育）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は **4 問 3 ページ**で、時間は**60分**です。
- 2 解答用紙は、**別紙**で配布します。「**始め**」の合図で始めてください。
- 3 **解答**は、それぞれの問題の指示に従って**解答用紙**に記入してください。
- 4 「**やめ**」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 **解答用紙**を持ち出してはいけません。

令和 9 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校 保健体育

1

中学校学習指導要領解説「保健体育編」第 2 章について、(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次は、「第 2 節 各分野の目標及び内容 〔保健分野〕 1 目標」の一部である。
下の①、②に答えよ。

- (1) A 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し (a) するとともに、(b) に伝える力を養う。
- (3) (c) を通じて心身の健康の保持増進を目指し、(d) 豊かな生活を営む態度を養う。

保健分野では、生徒が保健の (e) ・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・(f) な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、(c) を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指して、保健の知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の三つの柱で目標を設定した。

- ① a～f にあてはまることばを、それぞれ記せ。なお、同じ記号には同じことばが入る。
- ② 下線部 A について、次の文の ア～キにあてはまることばを、下の a～n からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

健康な生活と (ア) の予防、心身の機能の発達 (イ)、及び精神機能の発達や (ウ)、欲求や (エ) への対処などの心の健康、傷害の発生要因とその防止及び (オ) 並びに自然環境を中心とした環境と心身の健康との関わり、健康に適した快適な環境の維持と (カ) について、個人生活を中心として (キ) に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる基本的な技能を身に付けるようにすることを目指したものである。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---------|
| a. 批判的 | b. 災害 | c. 疾病 | d. ストレス | e. 改善 |
| f. 自己形成 | g. 科学的 | h. リラックス | i. 方法 | j. 人格形成 |
| k. 応急手当 | l. 緊急手術 | m. 悪化 | n. 仕方 | |

- (2) 次は、「第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 E 球技〔第3学年〕学びに向かう力、人間性等」の一部である。下の①～③に答えよ。

(3) A 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、B 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、C 互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。

- ① 下線部Aについて、次の文のaにあてはまることばを記せ。

自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組むことなどを示している。そのため、上達していくためには繰り返し（ a ）取り組むことが大切であることなどを理解し、取り組めるようにする。

- ② 下線部Bについて、次の文のbにあてはまることばを記せ。

体力や技能の程度、性別や障害の有無等に応じて、自己の状況に合った（ b ）な課題の設定や挑戦を大切にしようしたり、練習の仕方やゲームの修正に合意したりしようすることを示している。

- ③ 下線部Cについて、次の文のcにあてはまることばを記せ。

練習の際、互いに練習相手になったり、（ c ）などを通して仲間の課題を指摘するなど教え合ったりしながら取り組もうとすることを示している。

- (3) 次は、「第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 H 体育理論〔第1学年及び第2学年〕運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ア 知識」の一部である。次の文のア～クにあてはまることばを、下の①～⑯からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。なお、同じ記号には同じことばが入る。

(イ) 運動やスポーツの学び方

運動やスポーツの課題を解決するための（ア）な体の動かし方などを（イ）といい、（ウ）とは、（ア）な練習によって身に付けた状態であること、（ウ）は個人の体力と関連していることについて理解できるようにする。

各種の運動の（ウ）を効果的に獲得するためには、その領域や（エ）に応じて、よい動き方を見付けること、（ア）な練習の（オ）や計画を立てること、実行した（イ）や戦術、（カ）がうまくできたかを確認すること、新たな課題を設定することなどの運動の課題を（ア）に解決する学び方があることを理解できるようにする。

その際、特に競技などの対戦相手との競争において、（ウ）の程度に応じた戦術や（キ）を立てることが有効であることを理解できるようにする。なお、戦術は（イ）を選択する際の方針であり、（キ）は試合を行う際の方針であることについても、（ク）ようにする。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ① 技能 | ② 熟練 | ③ 目標 | ④ 目的 |
| ⑤ 作戦 | ⑥ 合理的 | ⑦ 分類 | ⑧ 種目 |
| ⑨ 監修 | ⑩ 伝達 | ⑪ 施術 | ⑫ 技術 |
| ⑬ 技巧的 | ⑭ 表現 | ⑮ 配慮する | ⑯ 触れる |

2 次の（１）～（３）に答えよ。

- （１） 陸上競技のハードル走において、ハードルとハードルの間の局面のことを何というか、記せ。
- （２） 器械運動の跳び箱運動において、跳び箱上で支持しながら回転方向を切り替えて跳び越す「切り返し跳びグループ」に分類されている技を、一つ記せ。
- （３） 球技のソフトボールにおいて、守備側が連携プレイにより、走者や打者を続けて２人アウトにすることを何というか、記せ。

3 次の（１）～（３）に答えよ。

- （１） 子供の主体的な学びを促すための指導計画を立てる際に、授業の中にどのような場面を意図的に設定することが効果的か。具体的な場면을、二つ記せ。
- （２） 武道の指導において、「技能の習得などを通して、人間形成を図る」という考え方を子供たちが理解できるようにするための具体的な指導例を、二つ記せ。
- （３） 体育的活動を指導する際には、熱中症が起こらないようにするための事前の対策と、発生時の対応が重要である。それぞれの視点から考えられる具体的な対応策を、一つずつ記せ。

4 次の（１）～（４）について、それぞれ簡潔に説明せよ。

- （１） 歯周病
- （２） パラリンピック
- （３） 医薬品
- （４） 運動やスポーツの多様な関わり方